

特別活動

学校教育目標

自らをきりひらく たくましい児童の育成

めざす児童像

知：自ら行動し、学び合う児童 〈かしこく〉

徳：思いやり、協働する児童 〈やさしく〉

体：心身ともに健康で、やりぬく児童 〈たくましく〉

特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成する。

○学級活動

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践する。また、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

○児童会活動

異年齢の児童同士で協力し、学校生活諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

○クラブ活動

異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

○学校行事

全校または学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

○低学年

- ・仲良く助け合い学級を楽しくしやうとすることができる。
- ・集団の一員として、仲良く様々な活動に参加することができる。

○中学年

- ・協力し合って楽しい学級生活をつくろうとすることができる。
- ・自己の考えを持って話し合い活動に参加することができる。

○高学年

- ・信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくろうとすることができる。
- ・学校生活に寄与するための役割や責任を果たすことができる。

各教科	○よりよい生活や人間関係を築いたり、集団としての意見をまとめたりするための話し合い活動ができるような力をつける。 ○調査・統計・結果をまとめたり説明したりする基礎的な能力を培う。
道徳	【道徳教育の重点目標】 ・個性の伸長 ・感謝 ・勤労、公共の精神
総合的な学習の時間	○主体的に物事に取り組む態度を養う。 ○地域の方などとの交流などを通して、集団としての自覚を持たせると共に、個性の伸長を図る。